

平成 29 年度 施策評価表



|       |   |            |         |       |
|-------|---|------------|---------|-------|
| 施策    | 1601  | 観光交流のまちづくり | 施策推進担当部 | 産業振興部 |
| 施策の方針 | 豊かな自然や歴史的・文化的な遺産等、本市の観光資源を活用し、滞在型観光やグリーン・ツーリズムの推進を図る。また、スポーツ大会などコンベンションの誘致強化に努める。 |            |         |       |

【DO（実施）】

基本計画における目標値

| 指標名                 | 単位 | 基準値<br>(H26) | H28目標値           | H29目標値 | H30目標値 | H31目標値 | H32目標値 | H28年度  |       |
|---------------------|----|--------------|------------------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
|                     |    |              | H28実績値           | H29実績値 | H30実績値 | H31実績値 | H32実績値 | 達成率    | 進捗率   |
| ① 観光交流人口（年間）        | 千人 | 1,194        | 1,251<br>1,312.0 | 1,364  | 1,434  | 1,504  | 1,580  | 104.9% | 83.0% |
| ② 市内宿泊施設の延べ宿泊者数（年間） | 千人 | 210          | 226<br>213.0     | 232    | 238    | 244    | 250    | 94.2%  | 85.2% |
| ③ 市内民泊施設の延べ宿泊者数（年間） | 人  | 406          | 420<br>315.0     | 440    | 460    | 480    | 500    | 75.0%  | 63.0% |
| ④                   |    |              |                  |        |        |        |        |        |       |
| ⑤                   |    |              |                  |        |        |        |        |        |       |

施策達成状況の説明

観光交流人口は、平成28年3月の道の駅「長崎街道鈴田峠」開設による増加が要因となり、目標値を上回った。

宿泊施設の延べ宿泊者数は、外国人宿泊者（造船労働者等）の減少や熊本地震による影響等により前年を下回り、目標値も下回った。

民泊施設の延べ宿泊者数は、熊本地震の影響により外国人宿泊者が減少し、目標値を下回った。

施策経費

| (単位:千円) |        | H28年度<br>決算 | H29年度<br>予算 | H30年度<br>見込 | 特記事項 |
|---------|--------|-------------|-------------|-------------|------|
| 内訳      | 事業費    | 39,542      | 42,630      | 51,185      |      |
|         | 国庫支出金  | 0           | 0           | 5,000       |      |
|         | 県支出金   | 1,718       | 2,360       | 1,756       |      |
|         | 地方債    | 0           | 0           | 0           |      |
|         | その他    | 2,888       | 7,919       | 2,190       |      |
|         | 一般財源   | 34,936      | 32,351      | 42,239      |      |
|         | 人件費    | 26,757      | 25,230      | -           |      |
| フルコスト   | 66,299 | 67,860      | -           |             |      |

施策の概要

|        |                     |   |
|--------|---------------------|---|
| 160101 | 歴史や自然等を活かした滞在型観光の推進 | 滞在型観光を推進するため、歴史・文化、自然など、本市ならではの観光資源を活用したまち歩きや体験プログラムなど、観光メニューの開発を行います。また、新幹線開業を踏まえ、県内外の観光地と連携した取組を進めます。 |
| 160102 | グリーン・ツーリズムの推進       | 本市の豊かな自然環境等を活かした魅力的なグリーン・ツーリズムを更に推進するため、関係機関と連携し、農業体験や食育体験など、観光客のニーズに応じた体験プログラムの開発を行います。                |
| 160103 | 観光イベントの充実           | 「おおむら花まつり」、「おおむら夏越まつり」など、イベント内容の充実を図り、観光客の誘客に努めます。また、地域の祭りや行事などを観光イベントとして活用します。                         |
| 160104 | コンベンション誘致の強化        | 大村市観光コンベンション協会や長崎県観光連盟、長崎県スポーツコミッション等と連携し、各種会議・大会やスポーツ大会・合宿など、コンベンションの誘致強化に努めます。                        |
|        |                     |   |

【CHECK (評価)】

|                         |   |
|-------------------------|---|
| <p>施策を達成する上での問題点・課題</p> | <p>観光客数は、平成21年に100万人を突破したものの、依然として日帰り観光客が8割を超え、観光消費額も県内でも下位を位置しているため、滞在型観光に繋がる関係団体（グリーン・ツーリズム等）と連携した着地型観光メニューの開発が必要である。</p> <p>また、交流人口の拡大を図るためには、魅力的なイベントの開催、長崎県観光連盟等と連携したコンベンション誘致の強化が必要である。</p> |
|-------------------------|---|

【ACTION (改善・改革)】

|   |   |
|---|---|
| <p>問題点・課題を踏まえた施策構成事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方</p> | <p>観光消費額の増加を図るため、自然や歴史的な観光資源を活かした滞在型観光となる観光メニューの開発や体験プログラム（農家民泊体験、日本文化体験）などの開発を行う。</p> <p>また、旅行業資格を取得する観光コンベンション協会と連携し着地型観光を推進するとともに、他市町と連携した広域的な商品造成も進め誘客を図る。</p> <p>更には、各種観光イベントの魅力向上と新たなイベント企画を検討し観光客の誘客に努めるとともに、コンベンション助成制度の活用や広域的に連携した誘致活動を行う。</p> |
|---|---|

平成30年度新規事業

| 事業名 (仮称)           | 担当課   | H30年度見込 |  |
|--------------------|-------|---------|--|
|                    |       | 事業費     | 対象・事業概要など  |
| 1 松原海水浴場イベント開催事業   | 観光振興課 | 666     | 市内唯一の松原海水浴場で、水上遊具を活用したイベントを開催し、同時にライフジャケット着用の周知を図る。また、地域団体（大村市漁業協同組合松原支部、松原宿活性化協議会）などの協力による監視業務やカレーの調理などを行う。 |
| 2 大村湾ZEKKEIライド開催事業 | 地方創生課 | 10,000  | 大村湾流域市町と連携のもと、大村湾を自転車で周遊するサイクルイベントを開催し、交流人口の増加を図る。各市町の特産品等でのおもてなしによる認知度向上を図る。                                |
| 3                  |       |         |  |
| 4                  |       |         |  |
| 5                  |       |         |  |
|                    |       | 10,666  |  |

【評価調整委員会意見】

|  |        |  |
|--|--------|--|
| 2  | 見直しが必要 |  |
| <p>《特記事項》</p> <p>施策の概要「歴史や自然等を活かした滞在型観光の推進」に関連する「着地型観光推進事業」について、下記の意見を付す。事業の実施を認めるが下記の条件を付す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Wi-Fiアンテナの設置場所は必要な場所に絞り込むこと。</li> <li>・野岳湖の活用策とARなどWi-Fiを活用した観光案内を検討すること。</li> </ul> <p>施策の概要「観光イベントの充実」に関連する「松原海水浴場イベント開催事業」について、下記の意見を付す。事業の実施を認めるが下記の条件を付す。</p> <p>参加者を広く多く集める努力をすること。</p> |        |  |

【最終評価 (都市経営戦略会議)】

|               |               |  |
|---------------|---------------|--|
| 1             | 評価調整委員会意見のとおり |  |
| <p>《特記事項》</p> |               |  |